



これらの行動を通して、
持続可能な社会づくりに
貢献します。

環境宣言の“自分ゴト化” 新年アメニステック開催

活動時期 2020年1月10日

活動場所 ベルサール三田（東京都港区三田）

日比谷アメニスグループでは、社員の新たなチャレンジ等、様々な情報を共有するアメニステックを例年開催しています。2020年1月の新年アメニステックでは、様々な部門からメンバーを集めたプロジェクトを立ち上げ、～他人（ヒト）ゴトじゃない環境宣言～をテーマとし、いつもと少し趣向を変えた参加型のアメニステックの企画・運営を行いました。ライトニングトークと自分ゴト化タイムの2部構成で、発表者と参加者がコミュニケーションをとれる内容で開催しました。

活動の
目的

当グループで策定した環境宣言を、他人ゴトではなく自分事としてとらえ、各々の行動につながるような、参加型のアメニステックにしたいという、プロジェクトメンバーの共通意見をもとに、企画・運営を進めていきました。

取り組み
成果

5分間の発表を次々に繰り返すライトニングトークを実施。その後、発表内容のパネル展示や、環境宣言に対する想いを聞き出す突撃インタビュー、環境宣言やSDGsについての疑問に答えるミニ座談会等も行い、盛り上がりを見せました。発信だけでなく、参加者との双方のコミュニケーションのあるアメニステックの実施ができました。

今後の
目標・
課題

事前・事後のアンケートや、発表への投票等、参加者の様々な意見を集め、結果の見える化にも取り組みました。これらの結果を活かしながら環境宣言の自分ゴト化をさらに進め、SDGsの実現に向けた取り組みを活性化していきます。



- 1 ライトニングトークの様子。各部門・各グループ会社の社員が次々に登場し、熱のこもった発表が行われました。
- 2 ライトニングトーク終了後には共感度 No.1 を決める投票を行い、MVP 等の各賞を決定しました。
- 3 立発表の後には「自分ゴト化タイム」を設けました。発表内容のパネル展示等、環境宣言の理解を深め、日々の行動に落とし込めるような工夫を行いました。

- 4 突撃レポーターによるインタビュー。環境宣言に対する社員の様々な想いを聞き出しています。
- 5 普段感じている、環境宣言やSDGsについての疑問・質問に答えていくミニ座談会。
- 6 この日の参加を通じて決意した各自の環境宣言を、葉っぱの用紙に書いて貼り出し、1本の木が出来上がりました。



- 1 様々な年代・立場の社員が参加し、実体験をもとにワークとライブの課題について議論しました。
- 2 社内外で課題と思われる様々なテーマを議題としていきました。
- 3 観覧する社員側からも自由に発言ができる形式とし、意見を出し合いました。

働き方改革を考える WLB 講演会・パネルディスカッション

活動時期 2019年11月7日

活動場所 日比谷アメニス本社（東京都港区三田）

当社ではワークライフバランス（以下、WLB）に関する取り組みを推進するためプロジェクトを立ち上げて9期目となり、社員の意見も取り入れながら、様々な取り組みを行っています。プロジェクトでは毎年 WLB 講演会を開催し、WLBに関する情報提供や社内の制度説明、プロジェクトの活動報告を実施しています。2019年の講演会では働き方改革のこれからについてを考えるパネルディスカッションを実施しました。

活動の
目的

2019年4月から働き方改革関連法が順次施行され、様々な対応が求められています。社内ではどのような課題があるか、どのように対策に取り組んでいくべきか、社員の現状なども踏まえつつ情報を共有し、考えるきっかけになることを目指しました。

取り組み
成果

パネルディスカッションでは、育休の取得と職場復帰後の働き方、介護との向き合い方、若手やマネージャー層の業務負担の現状、仕事とライフプランとの兼ね合い等について、社員の実体験を通じた本音で議論されました。

今後の
目標・
課題

課題を改善するためのヒントを得る事もできましたが、難しい問題であることを実感させられる内容も多くありました。2020年からは社内で「働きたた働きがい改革特別プロジェクト」を設立して体制を強化し、課題解決に取り組んでいます。



- 1 造園施工・メンテナンスにおけるSDGsへの配慮について、現地を見学しながら説明しました。
- 2 捕獲には関東近辺の畑で育てられた在来種を使用。生態系の保全や輸送のエネルギー削減に貢献しています。
- 3 景観を損なわない範囲で落ち葉は残し、化学肥料の使用を低減します。

造園とSDGsとの繋がりを伝える

活動時期 2019年12月5日

活動場所 日比谷アメニス本社（東京都港区三田）・赤坂インターシティAIR（東京都港区赤坂）

長野県松本県ヶ丘高等学校の研修旅行で行われる企業研修において、当社のSDGsに関する取り組み内容の説明を行いました。初めに当社で当社のSDGsに関する方針や代表的な取り組みの内容を説明し、その後は実際にその取り組みが行われる造園施工・メンテナンスの現場見学を行いました。実際の現場を見ながら業務内容を紹介し、それらの業務とSDGsとの関連性についても説明していききました。

活動の
目的

造園の仕事とSDGsとは深い繋がりががあります。何気ない業務の中でもSDGs達成のために様々な工夫が行われており、それらを次世代を担う高校生の皆様にも伝えていくことを目指しました。

取り組み
成果

当社が緑地の施工・メンテナンスを担当する、赤坂インターシティAIRの見学を実施しました。この緑地では生態系に配慮した在来種の植物が使用され、メンテナンスの際には、水資源に配慮した灌水、化学肥料や農薬の使用量低減、外来種に注意した除草作業等が行われています。このような、業務とSDGsとの関連性を実際の緑地を見学しながら説明していききました。

今後の
目標・
課題

SDGsに関する実践的な取り組みを知っていただくとともに、SDGsについて考えたり、何か取り組みを始めてみるきっかけにもなれば幸いです。今後は取り組みの実施だけでなく、それらの内容を伝えていく活動にも力を入れていきます。

